

NITTO KOHKI CO.,LTD.

# Social & Environmental REPORT 2016

日東工器 2016年 社会・環境報告書



地球環境への取り組みを通じて  
社会的責任を果たし  
持続可能な社会を追求します

## Contents

Top Message ..... 1

## Topics

地球環境に貢献する燃料電池自動車用カブラ ..... 3

CMS構築と仕入れ先様 ..... 5

## Chapter1

### 経営

Part 1 企業統治 / 内部統制 ..... 7

社是・社訓/取締役会および内部統制の役割/  
コンプライアンスの整備・運用状況/  
BCP (事業継続計画) マネジメントの状況/  
防災訓練/救命講習会

Part 2 事業分野・財務状況 ..... 9

## Chapter2

### 社会への取り組み

Part 1 お客様とともに ..... 11

営業部門の取り組み  
日東工器製品とお客様の関わり

Part 2 学生との関わり ..... 12

会社説明会から入社まで/  
インターンシップによる学生の受入

Part 3 社員および家族との関わり ..... 13

子ども参観日/メンタルヘルス研修  
ライフプランセミナー /社員向け決算発表会/  
社員会 (労働者組織) 活動紹介

Part 4 地域との関わり ..... 15

エコフェスタワンダーランド/各清掃活動/  
ゴミの分別講習会

## Chapter3

### 環境への取り組み

Part 1 日東工器が目指す環境経営 ..... 17

Part 2 環境方針/環境マネジメントシステム ..... 17

Part 3 製品含有化学物質への取り組み ..... 18

環境に関する法規制の順守状況/  
グリーン調達/環境教育の実施状況

Part 4 地球温暖化対策・廃棄物の削減 ..... 19

地球温暖化防止に向けた活動/廃棄物の削減

Part 5 環境への影響について ..... 20

Part 6 製品開発 ..... 21

自社製品コンセプト/  
環境配慮設計/NITTO KOHKIモノがたり  
EcoTOPICS ..... 22

Part 7 生産部門の取り組み ..... 23

日東工器グループのグリーン調達方針  
国内生産グループ会社の取り組み/改善活動  
海外生産子会社のCO<sub>2</sub>排出量と電力使用量

Part 8 オフィスの取り組み ..... 25

Part 9 地域とともに ..... 26

やまがた絆の森プロジェクト参加

編集にあたって ..... 26

## Top Message

# 環境問題への取り組み 永続的な発展を目指し

日東工器株式会社 代表取締役社長

小武尚之

昨年12月パリで国連気候変動枠組条約第21回締約国会議、いわゆるCOP21が開催されました。COP21では、1997年COP3にて先進国にCO<sub>2</sub>排出削減を求めた京都議定書の対応期限である2020年以降の、新しい温暖化対策の枠組みについて議論され、国際社会は合意に達しました。環境対応は地球規模で進められることが、もはや当たり前前の社会となっています。

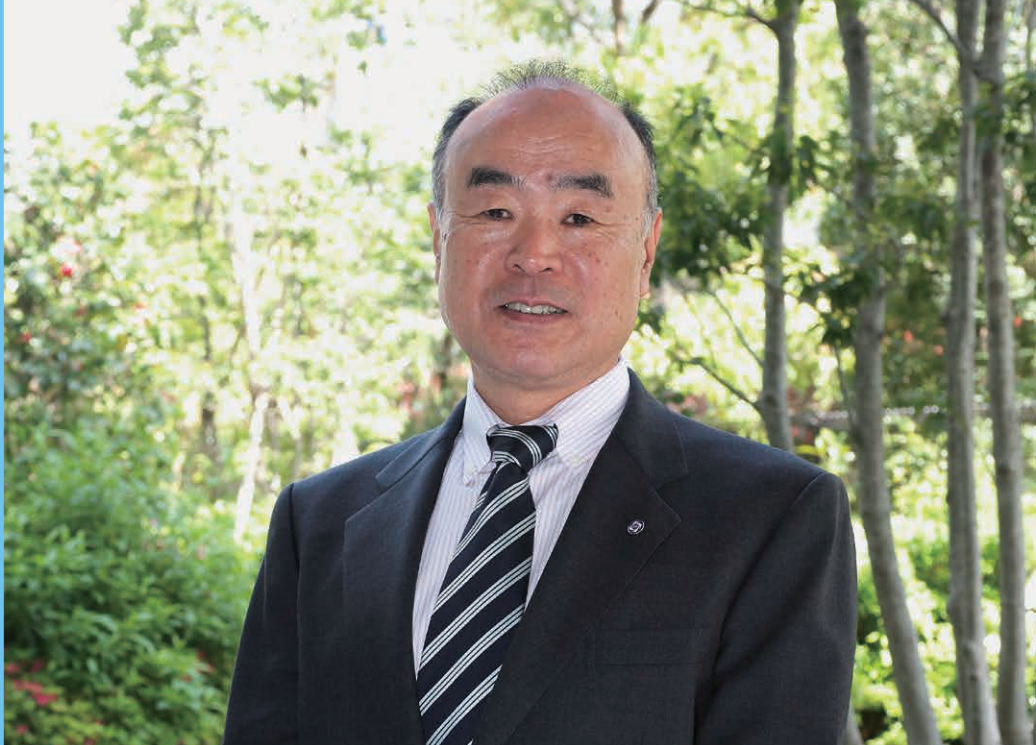
当社は、幅広く産業界の発展に貢献してきたメーカーとして、製品を通じた地球環境への貢献はもちろん、事業活動を通して環境負荷の軽減に取り組んでいます。

## 事業活動とISO14001

2004年度に日東工器本社はISO14001を取得し、以来12年、環境マネジメント活動を行ってきました。ISO14001と共に製品開発でも環境貢献に重点を置いた活動として、環境配慮設計 (DfE) 評価を実施しています。DfE評価とは、製品の設計時、製造時、使用時から廃棄時に至るまでの全ての工程において環境に配慮した製品開発を行っているかを評価します。一例として廃棄時の評価には、環境に悪影響をおよぼす物質が含有していないことを含めた、製品自体がリサイクルに対し配慮がされていることなどを評価します。DfE評価を実施して以来、2015年度までの12年間で174件の環境配慮設計製品を、世の中に送り出しています。また、開発された製品自体もさまざまな形で地球環境に寄与しています。この「2016年社会・環境報告書」においては、地球環境に優しい水素社会の一翼を担う燃料電池自動車MIRAIに搭載されている「HHVカブラ」、食品業界における着脱洗浄作業改善を図った「サニタリーカブラ」などを紹介しております。

2015年にISO14001は、11年ぶりに規格が大幅改正されました。2015年版ISO14001では、規格改正の主要事項とし

# を通じて ます。



て事業活動と環境マネジメント活動との一体化を求めています。それに対し当社は、2015年度から事業計画に環境の視点を組み込みました。また環境マネジメントの活動目標は、2014年度から事業活動・計画と密接にリンクする環境目標を設定し、取り組んでいます。結果的に当社は2015年版ISO14001を先取りした形で事業活動・環境マネジメント活動を行っていますので、2015年規格改正には、大きな問題なく対応・移行できると考えています。

## グリーン調達

当社を取り巻く経営環境は日々刻々と変化していますが、特に環境影響化学物質管理・規制の国際的な気運の高まりを重視しています。

日東工器グループにおいて、海外における事業活動は重要であり、規制強化に対し迅速に対応することが不可欠です。こうした環境に関する規制を順守するため、当社は日東工器グループグリーン調達基準を2004年に定めました。環境法令に則り定期的な監視を行い、法令改正に合わせてグリーン調達基準の見直しを実施しております。グリーン調達基準は、仕入れ先様に周知を図り環境影響化学物質規制への対応協力をお願いしています。また合わせてグリーン調達活動では、仕入れ先様の協力も得ながら化学物質を管理するデータベースを作成しています。今後、このデータベースを活用し、信頼性の高い製品を社会に提供いたします。

2012年に制定されました製品含有化学物質管理に関するJIS規格に沿って当社は、従来からのグリーン調達体制を見直し、日東工器グループ製品含有化学物質マネジメントシステム(CMS)を構築しました。CMSは、2014年度までにシステム構築とプレ運用を実施、2015年度から正式運用を開始しています。これにより従来よりも、安全・安心

感のある製品をお客様に届けることができ、お客様のさらなる信頼を得ることにつながります。

これらさまざまなグリーン調達活動は、業界内でも当社が先行していると自負しています。

もちろんこうした取り組みには、仕入れ先様の多大なる配慮を必要としています。仕入れ先様には、化学物質管理の重要性をご理解いただき、ご協力をお願いしています。当社事業に関わる全ての企業の協調の上で、当社のグリーン調達活動は、実現しているのです。

製品やサービスにおいて「必要最低限」ではなく「プラスアルファ」の価値を加える。期待以上の取り組みを自主的に実施していく。それが当社の企業姿勢であり、環境への取り組みにおけるポリシーです。今後もさらにグリーン調達への取り組みを強化し、人や環境への配慮と改善に努めていきます。

## 社会・環境への取り組み

21世紀のメーカーには、単に「モノを作って売る」以外にさまざまな要素への対応を行うことが、当たり前であり必要不可欠だと考えています。経営の透明性を図る企業統治と体制構築を行うこと、当社に関わりのあるさまざまな利害関係者(お客様・仕入れ先様・学生・社員とその家族・企業活動を行う地域社会など)との共存関係を構築すること、そしてメーカーとして信頼性の高い製品を開発し・生産し・世の中に送り出し、社会への貢献をすることが求められ、また継続的に実行していく必要があります。

「開発は企業の保険なり」。この社是に基づき、当社は世の中になくものを送り出していくことを主たる業務としており、今後もその姿勢は変わりません。世界初、日本初といった価値を世の中に提供し続ける、環境においても当社らしい価値を意識した取り組みを続け、全ての利害関係者に対し、企業としての責任を果たし続けたいと考えています。



東京「水素ステーション池上」



### Topics

燃料電池自動車 トヨタ「MIRAI」に採用

# 地球環境に貢献する 燃料電池自動車用カプラ

— 高圧水素ガス、日東工器の「HHV<sup>※</sup>カプラ」を介し車両へ —

日東工器が開発した燃料電池自動車・高圧水素ガス充てん用カプラ「HHVカプラ」が、  
量産型燃料電池自動車として世界に先駆け市販されたトヨタ自動車「MIRAI」に採用されました。

※ HHV: High-pressure Hydrogen for Vehicleの略



水素ステーション(水素ガス供給装置)



MIRAI充電口とノズル



HHVノズル



水素充電の様子

## 来たる水素社会を見据え、誰もが使いやすいカプラの開発を

日東工器は水素社会の到来を先取り、2002年に国産初の水素充電カプラを開発しました。以来十余年、現在に至るまで国内メーカーとしては唯一、燃料電池自動車 (FCV) 用の迅速流体継手「HHVカプラ」を販売しています。この「HHVカプラ」が、量産型燃料電池自動車として話題を呼ぶトヨタ自動車「MIRAI」の車両側水素充電口に採用されました。

「HHVカプラ」は他のカプラと同様、プラグ・ソケット2つの製品をセットにした構成です。燃料電池自動車用の場合、クルマ側に付くカプラ (プラグ) を「レセプタクル」、スタンドで水素を供給する側のカプラ (ソケット) を「ノズル」と呼びます。水素の充電は、HHVノズルを、クルマ側に取り付いているレセプタクルに接続して水素を供給します。

採用された「HHVカプラ」は、車両側からの水素ガスの逆流防止や、車両への異物の流入防止といった機能を備えており、独自の内部構造を採用することで、小型・軽量化。水素の供給において、安心・安全・確実さを常時、提供します。

日東工器が燃料電池自動車に水素を供給・充電する専

用カプラを開発したのは2002年、トヨタとホンダの燃料電池自動車 が国土交通省の大臣認定を取得し、中央官庁などに限定してリース販売された年でした。

この年、燃料電池自動車の公道走行の実証試験スタートにあわせ、横浜・大阪・高松の全国3カ所に水素ステーションが設置されましたが、3カ所すべてに、日東工器の燃料電池自動車用カプラ「HHVカプラ」が採用されました。

その後も開発を続け、2007年には大量の水素ガスを充電できる70MPa高圧タイプの「HHVカプラ」を開発。水素ステーションカプラでは、充電中に万が一車両が発進しても、安全にホースを切り離す緊急離脱用カプラを開発しました。

現在は、家庭での水素充電需要を考え、家庭向けの「水素充電用カプラ」なども提案しています。

日東工器の「カプラ」は、その品質と信頼性で燃料電池自動車の時代を側面から支えています。来たる水素社会の実現のため、新規用途に向けた技術開発に積極的に挑戦していきます。



開発  
西尾 拓也

### 開発担当者の声 | モノづくりの原点に立ち戻り開発した至極の一品

「レセプタクル」が、トヨタ自動車の燃料電池自動車「MIRAI」に採用され、納入を開始してから1年以上が経過しました。この1年間順調に生産を行い、かつ「MIRAI」の増産に対応するため、「レセプタクル」の増産準備も問題なく進んでいます。それは製品の開発時に自動車部品の厳しい要求仕様を満足させるため、ものづくりの原点に立ち戻り、開発活動を行った成果と考えています。また日東工器の「レセプタクル」は欧州

の法規に対する認可なども取得しており、日本のみならず欧州、北米を走行する燃料電池自動車にも搭載が可能です。

日東工器は、「レセプタクル」のみならず、水素ステーション部品である「ノズル」、「緊急離脱カプラ」についても開発しており、クルマ側、ステーション側と双方に製品供給を行うことで、地球環境にやさしい水素社会の実現に貢献します。



営業  
渋谷 敏

### 営業担当者の声 | 実際に見て日東工器の技術を感じてほしい

トヨタ「MIRAI」が2015年5月に日東工器本社に納車されました。この「MIRAI」には当社が開発した「HHVカプラ」が採用されています。

納車後の6月に本社で開催された株主総会の展示会でお披露目し、その後、日本全国で開催しているアタックフェア<sup>※</sup>などの販売会で展示しています。「MIRAI」は注文しても納車まで数年待たなければならないほどの人気もあり、多くの来場者の興味を引いています。

「MIRAI」に日東工器のカプラが搭載されていることはあまり知られておらず、実際にカプラが使われている「MIRAI」を見に来ていただくことで、日東工器の技術力をより多くの人に理解してもらえるものと思っています。

なお、「MIRAI」の導入に際しクリーンエネルギー自動車等導入促進対策費補助金として、202万円が適用されています。(クリーンエネルギー自動車等導入促進対策費補助 一般社団法人次世代自動車振興センター)

※ アタックフェア：日東工器の主催する商品販売会

## Topics

信頼性の高い化学物質管理を維持していきます。

# CMS構築と 仕入れ先様

日東工器は、製品含有化学物質を取引先間でシステムとして管理することが信頼性の高い化学物質管理につながると考え、2014年に、製品含有化学物質管理システム（以下、CMS）を構築しました。CMSにおいて重要なのは仕入れ先様での対応です。今回高品質の製品を供給していただいている株式会社吉川製作所様を訪問し、CMS構築と化学物質規制への対応についてお話を伺いました。

## 環境の変化に対応するために 必要不可欠なCMS

CMSは製品が含有する化学物質を適切に管理し、信頼性の高い製品含有化学物質情報を授受することを目的としたシステムです。

近年、環境問題が国際的な課題としてクローズアップされたことで化学物質規制が見直されました。これに伴い、企業にはこれまでのづくりの基本であるとされてきた品質・コスト・納期に加え、環境への配慮が求められています。日東工器は、「管理対象となっている含有化学物質の種類と量を効率的に把握し、製品情報を提供することが製品価値を高める」という考えのもと、CMSを活用しています。



吉川博社長（右）、吉川英一課長（左）

## 仕入れ先様事例

# 株式会社吉川製作所様

### 会社概要

設立：1953年8月  
社員数：38人  
資本金：1,500万円  
ISO認証：ISO9001:2008（2010年4月取得）  
委託品目：「ドアクローザ」の金具全般

防火扉に使われている「中心吊」ドアクローザ



## 「帝釈天参道」と「寅さん像」

帝釈天参道に軒を連ねる土産店からは今にも主人公・寅さんが飛び出してくそうな、どこか懐かしい下町の情緒が漂っています。



## Q. 吉川製作所様の事業内容を教えてください。

映画「男はつらいよ」のロケ地、葛飾区柴又の帝釈天（日蓮宗の寺院）に程近い吉川製作所では、「チャレンジ精神」をモットーに創業62年の長きにわたって数々の製品を世に送り出してきました。

製品設計から金型設計・製作、プレス加工、部品加工、組立まで一貫した生産体制により、低価格かつ短納期を実現しています。プレス製品加工やカシメ加工<sup>※1</sup>、バリ<sup>※2</sup>の発生を抑えた高い加工技術を武器に、電気・機械部品をはじめ、さまざまな製品・部品を供給しています。

## Q. 取引先への提案時に心掛けていることはありますか？

前向きな提案を心掛けています。ドアクローザ「中心吊」用のワンタッチ吊り金具「トップピボット」の開発段階では、製造工程における機能のバラツキ防止や作業性向上に寄与し、摩擦係数の低い材料を提案しました。お取引先様とのやりとりでは、「共に製品を作り上げる」ということを常に意識しています。

## Q. CMS構築と製品含有化学物質の管理状況について教えてください。

必要な項目をISO9001に追加してCMSを構築しました。CMS構築において重要なのは、リスクが高い原材料調達の際の「受入検査」と外部委託（表面処理）などの供給者管理です。社内工程では金属加工が中心で、化学物質リスクはほとんど

ありません。一方、社外への委託工程では二次仕入れ先の表面処理（めっき・塗装）工程や樹脂部品などといったリスクが高い工程があるため、情報を確実に伝達できる体制を整えています。改正EU RoHS指令の特定有害物質「フタル酸エステル類」を含む樹脂部品は、既に代替材料への切り替えを完了しています。

しかし、仕入れ先にJAMP<sup>※3</sup>の知識やAIS<sup>※4</sup>の作成経験がなく、二次仕入れ先への情報提供ができないことがあるというのが現状です。そのため、AIS作成に必要な設備状況・溶液・膜厚などの仕様や測定結果の情報提供を受け、二次仕入れ先まで介入してAISを作成しています。今後、二次・三次仕入れ先までAISを普及させていくために、研修会の開催や操作要領の作成が必要だと考えています。

## Q. 吉川製作所様の企業風土について教えてください。

社員の提案を積極的に採用しているのが特徴です。作業改善提案の公募用紙を食堂に設置し、いつでも提案できるようにしています。その結果、社員のチャレンジ意欲が高まるとともにコストダウンや付加価値創出にもつながっています。

また、安全と作業環境を第一に考えており、社長自ら安全衛生の職場巡視に同行して危険箇所や安全を確認し、朝礼で全社員へ周知するようにしています。

- ※1 カシメ加工：材料に力を加えて変形させて、荷重を除いたあと伸びや縮みにより結合させる加工方法
- ※2 バリ：材料を加工する際に発生する出っ張り
- ※3 JAMP：化学物質情報を管理し、円滑に開示・伝達するために発足した、製造業界横断の活動推進団体
- ※4 「AIS」「MSDSplus」：JAMPの作成した化学物質情報伝達ツール

## 白河日東工器 調達担当者の声

今回、白河日東工器のCMS構築と今後について、吉川製作所様の調達を担当している管理部生産管理課の小針昌幸課員に話を伺いました。



管理部  
生産管理課  
小針 昌幸

CMS構築は、前責任者が中心となり社内講習会や勉強会を計画的に実施したことで工場全体の意識が高まり、いち早いCMS構築に結びつきました。

CMS構築準備とプレ運用開始前は、CMSの状態を診断するためのチェック表にある実施項目の内容理解・熟知に努めました。また「グリーン調達基準」の改定に伴い、規制化学物質ごとの制限や適用除外用途、物質の限界濃度などを見直す必要がありました。

AISの作成において意識しているのは、仕入れ先様の知識レベルを確認することです。パソコン操作に

不慣れな仕入れ先様の場合は操作を一から説明し、それぞれのレベルに合わせてAISの作成方法を伝えていきます。

今後は白河日東工器のCMSの技術向上を目指し、グリーン調達の知識を含め、全社員のスキルアップを図っていきます。また、営業技術の経験からお客様の製品に対する評価の厳しさを日々実感しています。調達担当者として適正な部品および物質情報の提供を心掛け、営業技術で得た知識や経験を今後の業務に生かしていきたいです。

すべてのステークホルダーに誠意を尽くし、信用を蓄積し続けます。

## 企業統治(コーポレートガバナンス) / 内部統制

日東工器のコーポレートガバナンスの目的は、企業価値を高めていくためのものです。

その認識に立ち、適時適切な情報開示によって透明性を確保できるよう、  
経営の監視が適正に機能するよう努めていきます。

### 社是

#### 開発は企業の保険なり

社是にある「開発」には4つの意味が含まれています。

- ① 社会に貢献する製品開発
- ② 販売市場の開発
- ③ 人材開発
- ④ 組織管理体制の開発

これらの開発に全力を尽くすことが、会社の経営体質を強化し会社の永続的発展を保証する。すなわち「保険」であるということです。

### 社訓

- 創意を発揚し技術を蓄積しよう
- 鋭気を涵養し活力を蓄積しよう
- 誠意を尽くし信用を蓄積しよう

職場は社員の人格形成の場であり、すばらしい人生を送ってほしいという願いを込めた社訓で、社員の行動規範を示しています。「技術」とは職務上の技術と能力のことで、「活力」とはファイト盛んな心身の活動力です。また「信用」とは社会的信頼を得る力です。これら「技術」「活力」「信用」のバランスを保ちながら蓄積していくことで、社員が人間的に成長し、ひいては会社の発展につながります。

### 取締役会および内部統制の役割

取締役会は、2016年3月現在、11人の取締役で構成され、月1回の定例取締役会を開催しています。また必要に応じて臨時取締役会を開催しています。

取締役11人のうち2人は会社との利害関係がない社外取締役であり、弁護士や公認会計士など企業価値向上のために客観的な判断ができる方を選任しています。

取締役会において、業務を執行する取締役は会社が持続成長するために必要な提案を積極的に行い、社外取締役はその提案について客観的な立場から意見を述べ、十分に審議をしたうえで決議をしています。

監査役会は、2016年3月現在、3人の監査役で構成され、そのうち2人が社外監査役です。

監査役は取締役会のほか重要な会議に出席し、取締役の任務遂行について厳正な監視を行っています。

監査役は、各取締役、会計監査人、監査室(内部監査)と連

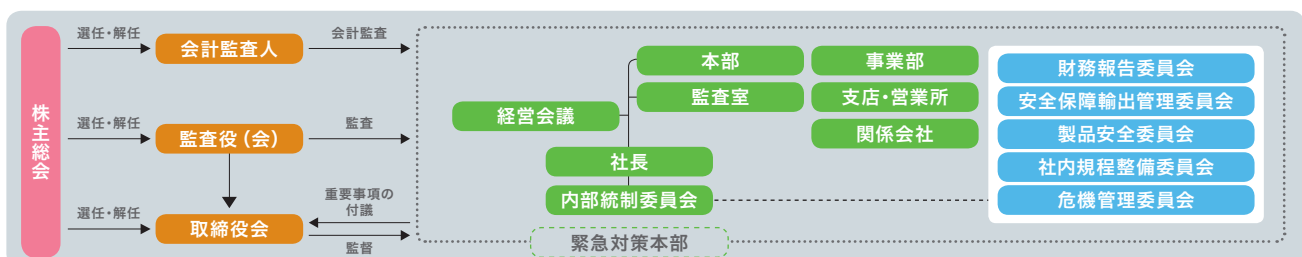
携・情報収集を行い、そこで収集した監査に必要な情報を元に月1回の定例監査役会を開催、審議を行い、必要に応じて経営改善のための提言等の措置をとっています。

社長を委員長として設置された内部統制委員会は、財務報告、安全保障輸出管理、製品安全、社内規程整備、危機管理の5つの専門委員会で構成され、リスク管理・コンプライアンスについて豊富な経験と専門知識を有する委員による討議を経て、定期的に取締役会に報告しています。

また、独立した内部監査部門である監査室は、組織の統制活動、リスク分析と評価、情報伝達の正確性、業務改善の確認、法令順守状況の確認を客観的な立場で計画し、監査を実施しています。

2016年3月現在、法規制の違反やステークホルダーからの要求および苦情の報告はありません。

#### 内部統制システム組織図







## コンプライアンスの整備・運用状況

### ● コンプライアンスの取り組み

日東工器グループは、企業理念に基づき法令順守はもとより社内規程、企業倫理、社会規範に則り、良識をもって行動するための基本事項を定めています。これを適切に運用することにより、コンプライアンスの徹底と社会的信用の向上を図ります。

### ● コンプライアンス教育

2015年9、10月に全社員を対象に「マイナンバー制度」「情報管理の注意点」など身近なテーマで研修会を開催しました。また、2015年7月からコンプライアンスに関するポータルサイトの

開設とメールマガジンを発刊しました。

コンプライアンス徹底のため、今後もコンプライアンス教育を実施していきます。

### ● コンプライアンス相談窓口

日東工器グループは「内部通報窓口」として社内、社外それぞれにホットライン（通報・相談窓口）を設置しています。

あわせて内部通報規程やポスターなどで、社員に「内部通報窓口」を周知しています。

## BCP（事業継続計画）マネジメントの状況

危機管理委員会は、海外治安、自然災害、経済変動リスクなどを評価し、総合的な事業継続計画の構築とリスクマネジメントを行っています。2011年に発生した東日本大震災での早期復旧の取り組みや、タイ国の大洪水で生じた工場浸水による一時的な国内工場への生産シフトの経験から、お客様への影響を最小限とする体制を構築しています。また、自然災害に備え

て拠点ごとにリスク評価と訓練の実施、海外治安情報の伝達、インフルエンザ対策、規程の見直し、非常用品の備蓄を計画的に行っています。2015年度は、日東工器の事業継続マネジメントをホームページで公開しました。今後は、国内生産子会社間の代替生産の充実、物流リスク低減の検討を進めていきます。

## 防災訓練

日東工器本社では、2015年11月に田園調布消防署の立会い指導のもと、自衛消防隊<sup>※</sup>50人を含む総勢290人による防災訓練を実施しました。



“震度7”起震車体験

今回は、強い地震発生後に起きた社内の火災発生を想定し、屋外の駐車場へ避難しました。

自衛消防隊の初期消火班は、出火想定場所で消火栓操作による

初期消火訓練を実施、通報連絡班は実際に東京消防庁「119」へ訓練通報し、避難誘導班・安全防護班・応急救護班も本番を想定した動作確認を行いました。訓練では、例年の水消火器訓練に加え「起震車」による大地震（震度7）の揺れを体感しました。

また、防災訓練にあわせて国内全社員を対象とした安否確認通報訓練を実施しました。

地方拠点においても防災訓練を実施しました。繰返し行う訓練が自衛消防隊の技術向上や、有事の際に役立つことを期待して今後も積極的に取り組んでいきます。

<sup>※</sup>自衛消防隊は、通報連絡班・初期消火班・避難誘導班・安全防護班・応急救護班の5班で構成されています。

## 救命講習会

本社では、毎年1月に未受講社員への普通救命救急講習会を実施しています。社員30人が普通救命講習会を受講し、応急救護知識を養っています。5回目となる2016年は、普通救命講習に加え、すでに普通救命講習を修了している社員10人が上級救命講習を受講しました。



心肺蘇生訓練

Part  
2

作業の省人化・省力化を軸に産業の未来を創造します。

## 事業分野・財務状況

日東工器は「開発は企業の保険なり」を社是に、独創的な技術による事業活動を展開してきました。モノづくりを追求するメーカーとして「時代のニーズに応じた製品開発」「信頼性が高く独創的な技術」を基本とし、半世紀以上にわたって事業を営んでいます。

その事業は ①25,000種におよぶ迅速流体継手「カブラ」、②鋼材穴あけ加工機「アトラ」や溶接のスパッタ取り工具「ジェットタガネ」などの機械工具、電動ドライバ「テルボ」、③リニア駆動ポンプ・その他のポンプとその応用製品、④ドアクローザの建築機器、の4分野で構成されており、その卓越した性能・品質によりいずれも高い顧客満足度を得ています。

社系にある「開発」とは技術・製品だけでなく、マーケティング（営業）、人材育成などのイノベーション（創造的な変革）を意味しています。日東工器は、開発を軸とした経営によって、今後とも一層の成長・発展を目指していきます。

### ドアクローザ（オートヒンジ）

電力などの動力源を必要とせず、油圧とスプリングで開けたドアを静かに閉めるドアクローザ「オートヒンジ」は、より快適で安全な生活空間を提供する、環境に配慮した製品です。「開き戸用」の中心吊型、丁番型のアームレスタイプと「引き戸用」のスライディングクローザがあり、ドアの外観を美しく演出します。

高齢者や小さな子どもでも安全に扉を開けられるスライディングクローザは、バリアフリーの面からも注目され、一般住宅はもちろん、学校、医療施設など幅広い分野で採用されています。

ドア周辺機器にも安全性・省エネ性の要望が高まっており、用途に合わせた製品の開発を進めています。



### 迅速流体継手（カブラ）

空気・水・油・ガスなどの流体配管の“接続・切り離し”を簡単かつスピーディに行う迅速流体継手「カブラ」。世界のトップブランドとして一般家庭から産業界まで幅広い分野でさまざまな用途で活用されています。

生み出された製品群は25,000種類以上にのぼっており、業界ではトップクラスのシェアを誇っています。環境対応製品や、従来と異なる用途分野をマーケットに提案・提供しています。

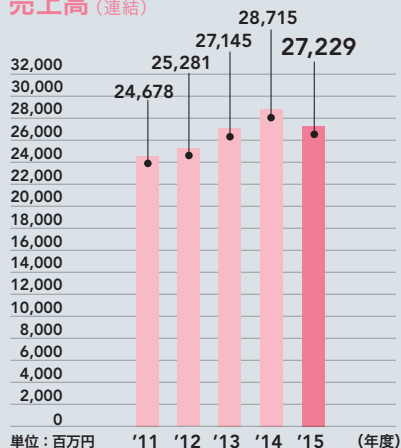
機能やバリエーションはもとより、耐久性や信頼性においても高いレベルの要望に応えるため、流体工学や材料工学、制御技術、電気・電子技術などの最新技術を駆使し、時代の先端をいく高品質・高機能製品の開発を進めています。



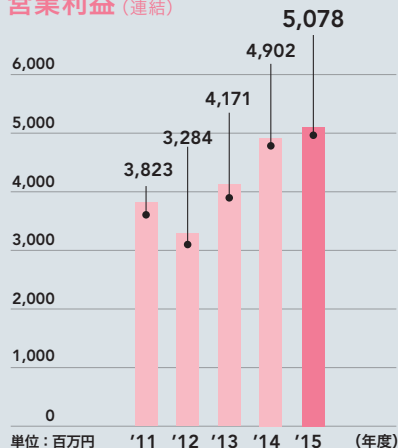
カブラ  
40.5%

## 財務データ（連結決算指標） 財務データの詳細は、ウェブサイトをご覧ください。 <http://www.nitto-kohki.co.jp/>

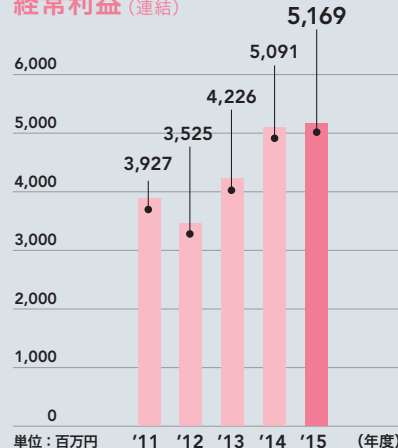
### 売上高（連結）



### 営業利益（連結）



### 経常利益（連結）



### コンプレッサ&ポンプとその応用製品 (リニア)

小型・軽量・低作動音・低振動・クリーン・長寿命など多くの特長をもち、日東工器が世界で初めて実用化した製品・リニア駆動ポンプを中心に、電磁ダイアフラム、DCモータ駆動、圧電素子駆動など、各種真空ポンプ&コンプレッサをラインアップしています。また、これらの技術を応用し、浄化槽用ブロワや医療・家庭向けのエアマッサージ器などユニークな応用製品も充実しています。その用途は産業機器をはじめ、医療・福祉、健康機器、環境関連機器などさまざまな分野へと拡大しています。

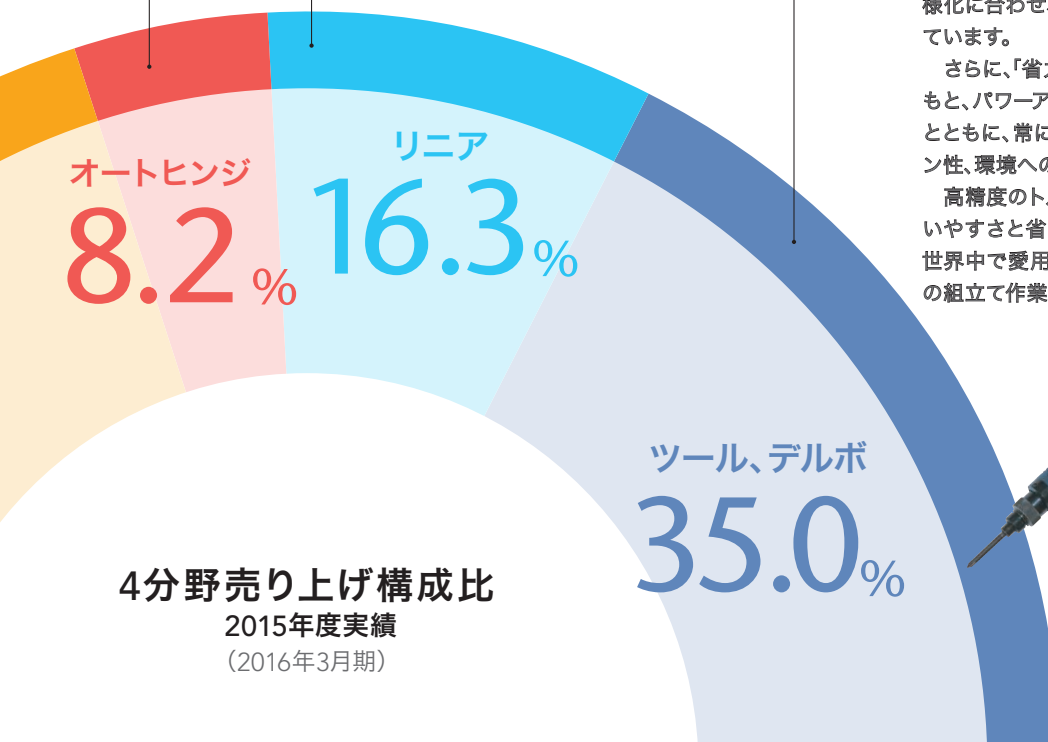


### 省力化機械工具と電動ドライバ (ツール、テルボ)

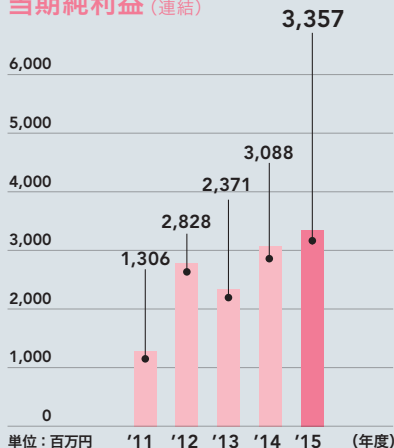
鋼材の切断・研磨・剥離・穴あけ・面取りなどさまざまな加工現場で使用されている機械工具。その加工形態、作業状況の多様化に合わせ、空圧・電動・油圧を駆動源とした製品群が生まれています。

さらに、「省力・省人化と作業環境の改善」というコンセプトのもと、パワーアップと小型化という不変のテーマに挑戦し続けるとともに、常にニーズの一步先に立ち、操作性や安全性、デザイン性、環境への配慮などを追及しています。

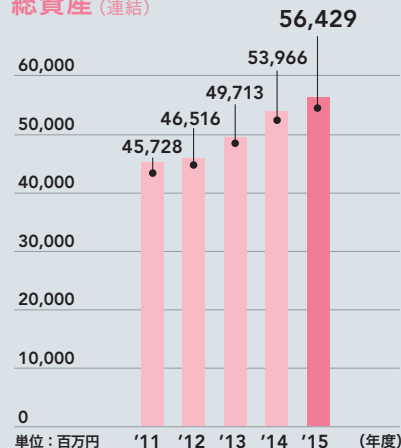
高精度のトルク管理を実現する電動ドライバ「テルボ」は、使いやすさと省エネ・低作動音を実現した信頼のブランドとして世界中で愛用され、デジタル家電・IT関連などの精密機器分野の組立て作業現場で、幅広く活躍しています。



### 当期純利益 (連結)



### 総資産 (連結)



### 会社概要

**商号**  
日東工器株式会社

**設立年月日**  
1956年10月22日

**本社所在地**  
東京都大田区  
仲池上二丁目9番4号

**資本金**  
18億5,032万円  
(東証一部上場：機械)

**従業員数**  
単体 400人 (連結 919人)

**ISO14001認証の取得年月**  
2004年5月

### 国内グループ会社

4社  
栃木日東工器株式会社  
白河日東工器株式会社  
株式会社メドテック  
メド一産株式会社

### 海外グループ会社

8社  
アメリカ、イギリス、  
ドイツ、タイ、  
オーストラリア、中国  
(2016年3月31日現在)

Part

1

お客様への製品提案活動を通して環境負荷の低減を行います。

## お客様とともに

日東工器グループは地球環境への貢献を目指し、環境配慮製品を含めた「提案型営業」を推進しています。

### 営業部門の取り組み

日東工器は、よりお客様に近い営業活動を目指し「環境配慮製品」を含め「提案型営業」を積極的に進めています。

地域密着型の展示即売会の「アタックフェア」、当社と販売店との二人三脚でお客様に合わせた製品の提案活動を行う「アタックキャラバン」、各種製品を備え付けたキャラバンカーでお客様に向きミニ展示会を行う「出前フェア」を実施しています。「体感コーナー」では、製品を実際に見て・触れて・動かして、実感してもらえます。

これからも、日東工器製品群とマーケットを熟知した販売店で構成する、独自の販売・流通組織「日東会」と連携し、地域に密着したきめ細かな活動を展開し、社会との絆を大切に、お客様のためになる製品の普及に努めていきます。

#### 2015年度実績

アタックフェア 24回

アタックキャラバン 202回

出前フェア 355回

### 日東工器製品とお客様の関わり

#### ● コーミ株式会社様

中部圏ではお馴染みの「コーミこいくちソース」を製造・販売しているコーミ株式会社は名古屋市に本社を構える食品会社です。「いい味」「いい笑顔」をモットーにおいしさにこだわった商品を提供されています。

日東工器との接点は、食品機械工業展でコーミ株式会社犬山工場の工場長が日東工器ブースで参考出展していたサニタリーカブラを見たことが始まりでした。工場で従来の継手に問題があり、「それに代わるものはないか」ということで、サニタリーカブラに興味をもっていただきました。衛生・安全管理に厳しい食品業界にあって、新たな取り組みに挑戦し続けるコーミ株式会社は「生活者の環境と食品への安心安全を優先すること」を旨としており、それと日東工器の思いが重なったことが、製品

化への大きな推進力になりました。何度も試作、打ち合わせを繰り返した結果、現在のサニタリーカブラの形が完成、発売するに至りました。

現在、ソースの製造工程でサニタリーカブラを使用いただいています。サニタリーカブラは従来の継手と異なり、簡単に分解し洗浄できることや、ゴム手袋をしたままでも操作性が良く、またあらかじめゴムパッキン（Oリング）がセットでき、落下することがなく、誰が作業しても着脱がきちんとできることなどを高く評価していただいています。今後の製品開発についても、いくつもの要望をいただいています。これからも食品の安心・安全を支えるサニタリーカブラへ期待してください。（写真（左）左からコーミ株式会社犬山工場鈴木副工場長と営業担当の中河原清隆）





## Part 2

学生たちに日東工器の「モノづくり」に対する姿勢を伝えていきます。

## 学生との関わり

日東工器グループの採用活動では学生一人ひとりと理解を深め、ありのままの日東工器を知ってもらうというところに重きを置いています。今後もインターンシップによる学生の受け入れや「働く現場説明会」など、学生との触れ合いを通じてモノづくり産業に貢献していきます。

### 会社説明会から入社まで

日東工器では、毎年10人程度の新入社員を採用します。選考過程で重視していることは、一人ひとりの学生と当社とのマッチングです。

はじめに、会社説明会では、日東工器という会社とその製品について理解してもらうため、営業担当社員から当社製品を扱う業界および業務について、開発担当社員から製品についてそれぞれ説明を行います。良いことだけでなく、ありのままの当社を伝えるように心掛けているため、飾らない素の日東工器を知ることができます。また、オフィスや実験室、昼食時に利用するラウンジ、テニスやフットサル用の屋上コートなどを見学し、当社で働く姿を具体的にイメージしてもらいます。

会社説明会の後は、グループディスカッションや面接を行います。ミスマッチを防ぐために、いずれも少人数単位で実施。最終面接後に人事面

談を行うなど、相互理解を深めた上で正式内定となります。

そして、内定者は入社までの期間、通信教育や人事担当者との定期連絡、入社前の外部研修を通じて、社会人となる準備を進めていきます。国内生産グループ会社3工場の見学会では、製造現場やそこで実施されている地道な改善活動を知ること、日東工器グループの「モノづくり」に対する姿勢を学ぶことができます。

当社では、採用する学生一人ひとりの定着と活躍を見据えて、相互理解を重視した採用活動を行っています。



### インターンシップによる学生の受入

日東工器本社では、大学生・大学院生を対象としたインターンシップを、8月末日から9月上旬に実施しました。今年は7大学の機械・電気系分野を専攻している学生12人が参加し、カブラ、機工、リニアの3事業部に分かれて実習しました。

インターンシップでは「モノづくりの流れを学ぶ」をテーマとし、設計開発、品質保証、生産管理、製造といったモノづくりに関わる一連のプロセスを学びました。本社実習の設計開発では、部品製図作業および製品開発アイデアを出し合うブレインストーミング、3次元測定機を用いた部品の測定、3Dプリンタによる部品製作などを経験しました。また、3日間にわたる工場実習では、組立作業や製品検査を体験。こうした実体験の中に大き

な発見と驚きがあり、メーカーの多様な業務に携わることは、学生たちにとって「モノづくり」を考えるうえで非常に良い経験となったと思います。最終日には2週間の総括として発表会を実施。発表からは、メーカーへの深い理解と、熱意を感じることができました。今後も、インターンシップを通じて、学生や大学との相互理解を深めていきます。



Part  
3

社員とそのご家族が安心して暮らしていけるように、より良い職場環境を目指します。

## 社員および家族との関わり

日東工器グループでは、社員の皆さんが安心できる職場づくりに力を入れています。そこで社員向け決算説明会や子ども参観日、社員向けライフプランセミナーなどを通じて会社を理解していただき、信頼される企業を目指しています。

### 子ども参観日

4回目となる「子ども参観日」を2015年8月に、本社にて開催しました。今回は小学生までの子ども15人、高校生や社会人のご家族11人と過去最多の参加でした。このイベントは日東工器が掲げる「次世代育成支援計画」に基づく取り組みで、子どもたちに親の働く姿や職場を見てもらうことにより、親子のコミュニケーションを深め、子どもたちの勤労観や職業観を醸成させることを目的として毎年実施しています。

今回のプログラムは、「にじみ絵のうちわ製作」「子どもたちや社員との名刺交換」「ショールームでの製品紹介」「内線電話によるお父さんお母さんへの電話連絡」「社内見学」「お父さんお母さんの仕事のお手伝い」「親子での昼食」「社長からの記念品贈呈」などでした。

参加者の皆さんは、普段あまり目にすることが少ない当社のさまざまな製品に、興味を持ったようでした。また、子どもたちがお父さんお母さんの職場を訪問した際には、親子を見守る和やかな雰囲気が広がっていました。

参加した社員の家族からは「来年もまた来たい」「ふだん見られない父親の姿を見て子どもが喜んでいて」「夏休みの良い思い出となった」と好評でした。

今後も内容を充実させながら、継続していきたいと考えています。



### メンタルヘルス研修

心と身の健康は、社員の幸福および活気のある職場づくりのために重要な課題です。2015年度は全社員を対象としたストレスケア研修を実施、管理職向けにはマネジメント研修と合わせ「メンタルヘルス予防と対応」に関する書籍を配付し、部下指導の一環としてメンタルヘルスケアが重要であることを再認識してもらいました。今後も上司と部下、同僚同士のコミュニケーションを活発化させることで健全な職場づくり

を推進していきたいと思えます。

また、従来からの産業医による相談に加え、社員とその家族向けに社外の専門業者に委託し、「健康相談窓口」を設けてサポートを始めました。電話やメールによる相談ができるので、海外勤務者も利用しやすい制度です。これから海外赴任する社員や家族にも、個別に説明をしています。

## ライフプランセミナー

日東工器グループの役員および社員を対象としたライフプランセミナーが2015年10月に開催され、計18人が受講しました。

定年後再雇用制度で希望者は65歳まで就業することができますが、定年後の家計試算を自分だけで行うのはなかなか難しいものです。そのため、自身の生涯設計について腰を据えて考える機会として、このセミナーは受講者に大変役立つと好評です。

リタイア後の第二の人生を楽しく過ごすためのヒントも多

く得ることができ、講師の持参したセカンドライフに関する書籍を手にし、理解を深めようと熱心に講義を聴く受講者の姿が印象的でした。

セミナー後には「知らないことがたくさんあり、これからもっと勉強していきたい」「来年以降もぜひ参加したい」といった声もあがり、各自が生涯設計の土台を考える非常に良い機会となりました。



## 社員向け決算発表会

日東工器では年2回、社長を筆頭とする経営陣による、社員向け決算発表会を開催しています。

2015年5月に「2014年度決算」、11月に「2015年度中間決算」の発表会が開催されました。冒頭に小武社長から日東工器グループの連結決算（総括）について説明が行われました。経営指標である売上高、営業利益率、経常利益、純利益、目標など製品群別で、それぞれ説明しました。合わせて現在実施している、さまざまなプロジェクトの状況などにも説明しました。続いて生産担当取締役から国内生産グループ会社3社

の経営概況、生産効率アップ、材料費削減、クレームの低減、新たな設備の投資状況、経営課題や方針などを説明し、最後に、営業担当取締役からは過去からの売上げ状況の推移、国内・海外の製品群別の営業状況、市況、為替、営業体制やトピックスなどを説明しました。

日東工器ではグループ全体をさまざまな切り口で捕らえ、最新状況を、トップ自らが社員に伝えることを大切だと考えています。

## 社員会（労働者組織）活動紹介

日東工器には労働組合はありませんが、それに相当する社員を代表し、会社側と労働条件などを協議する「社員会」があります。社員会は毎月1回、会社側と定例協議会を実施しています。その中で、社員の意見を発信し活発に意見交換をして、建設的な話し合いを行っています。賃金・賞与・労働条件を始め、メンタルヘルスや福利厚生など、さまざまな問題について、建設的に協議を行っています。

2015年の本社・クリスマスパーティーは、会社と社員会が共同で企画し、今までになく趣向をこらした会になり、参加者全員が楽しめたとても好評でした。

今後も、社員と会社の双方が、今まで以上に発展・充実していくために、協調しながら問題を前向きに捉え改善していきます。



Part  
**4**

地域の皆様と良好な関係を築き、社会に貢献します。

## 地域との関わり

日東工器グループは地域の皆様と良好な関係を築き、共に成長していきたいと考えています。  
今後も事業活動に加え、さまざまな活動を通じて地域や社会に貢献していきます。

### エコフェスタワンダーランド

2015年のエコフェスタは、大田区久が原の東調布第三小学校で、秋も深まり紅葉が鮮やかな11月15日に開催されました。エコフェスタとは、毎年大田区主催で区内の小学校において、地域の団体・企業などが環境をテーマにした工作や展示などを行い、子どもたちに楽しく環境にふれてもらうイベントです。今回、日東工器は、恒例の松ぼっくりやどんぐり、ローズマリーなど自然の素材をふんだんに使ったリースとミニクリスマスツリー作りに加えて、燃料電池車MIRAIに採用されたHHVカプラに関する展示・説明などを行いました。

#### ●事前準備は和気あいあい

事前準備として、素材となる松ぼっくりやどんぐりがたくさん落ちる台風直後に採取しましたが、今年は雨が降った翌日に採取したため後の手入れがとて大変でした。エコフェスタへ参加できない社員の事前ボランティア作業も恒例となっており、リボン結びやどんぐりの準備などを手馴れた様子で作成している社員が多く見受けられました。普段関わりが少ない部署の社員同士が、作業を教え合い交流を図ることができました。

#### ●素材も年々パワーアップ!

6回目の出展となる当日は、日東工器ブースの認知度も上がってきており「リース作らせてくださいー!」と元気よく訪れる人達も多数見受けられました。今年は社員からローズマリーやラベンダー・ローリエなど香り豊かな素材を提供いただきました。当日はラベンダーの香りにつられて来場する参加者もあり、とても好評でした。素材を年々パワーアップさせていることもあり、毎年子どもたちは完成度の高いとてもワクワクする作品を作って見せてくれます。アンケートでは子どもたちから「クリスマスに飾るリースやツリーを自分なりに可愛く作れて楽しかった。」との意見があり、自然にふれてもらいながらモノづくりの楽しさも感じてもらうことができました。

#### ●キッズスタッフが活躍

小学生のボランティアとして、2人の児童がキッズスタッフとなり、来場者へ作り方を教える手伝いをしてくださいました。元気いっぱいに来場を呼びかけ一生懸命に説明してくれたおかげで、日東工器ブース内も活気のある明るい雰囲気でご過ごすことができました。普段は先生に勉強を「教えてもらう」から「教える」立場となり、子供たちにも良い経験になったのではないのでしょうか。スタッフ一同も普段とは違う雰囲気の中で笑顔あふれる安らぐ時間を過ごせました。

これからも大田区の企業として地域の皆様の成長・発展に協力し、愛される企業を目指していきたいと思えます。





## 「多摩川河川敷清掃活動～グリーンアクションたまがわ～」に参加

2015年5月、「多摩川河川敷清掃活動～グリーンアクションたまがわ～」に参加しました。この活動は1973年から東京都大田区が主催しているもので、大田区の職員、関連団体、地域企業、NPO、自治会、地域住民の皆さんが参加。日東工器は地域社会への貢献の一環として毎年活動に参加しています。役員・社員（総勢22人）が参加、初夏を思わせる気候の中、参加者の皆さんと一緒に河川敷の清掃活動を行いました。多摩川はもともゴミが少ない河川敷ですが、皆さんの協力で河川敷がより一層きれいになり、清掃活動後は爽快な気分になりました。今後は多摩川河川敷だけではなく、いろいろな地域のボランティアに参加し地域社会への貢献を続けていきたいと思ひます。



## 鬼怒川・小貝川クリーン大作戦

2015年7月に、第25回「鬼怒川・小貝川クリーン大作戦」が開催されました。栃木日東工器は、地域環境活動の一環として7回目の参加で、早朝7時から社員24人が参加しました。2014年は台風の影響で中止、2年ぶりの開催になりましたが、当日は昨年の中止を取り戻すかのような快晴に恵まれ、気温も朝方には25℃程になり、汗ばむ陽気となりました。他の企業や一般の参加者と共に約1時間、清掃活動を行いました。確実にゴミが減少していることを実感しました。

現在、環境問題はCOP会議などで世界中の課題となっています。ISO14001を認証している当社は、地元のきれいな鬼怒川を維持するためにも今後も認証継続していきたいと思ひます。



## 大阪 清掃活動に参加

大阪支店では、毎月第2、第4金曜日の始業時間前に地域の清掃活動に取り組んでいます。活動も5年目となり一人ひとりの意識も高く、朝の貴重な時間ながらも自主的に毎回20人近い社員が参加しています。近隣に小中学校があるため、子どもたちの通学する姿を見て清掃活動への意識を高めた社員も少なくありません。また、通学路には近隣の方が、子どもたちの安全のために当番で立られています。その方と挨拶することも当社の地域環境改善に取り組む姿勢を知っていただけることにつながっていると考えています。



## 名古屋 ゴミの分別講習会

2015年7月に名古屋市市の瑞穂環境事業所職員を講師に迎え、「ゴミの分別講習」を開催し18人が参加しました。

支店内のゴミ箱付近には、環境委員が作成したゴミ分別用の早見表が貼られており、「表示の内容で実践していれば問題ありません」と講師からアドバイスをいただきました。

講習については、名古屋市のゴミ処理の経緯や最近の状況などを知ることができ、とても有意義な内容でした。日東工器にも環境ISO取得に向けての歴史があったように、物事すべてにおいて「スタート＝歴史を知ること」で多くの参加者のゴミ分別意識が高まったと確信しています。



Part

1

環境と人に優しく、持続可能な経営を実現させます。

## 日東工器が目指す環境経営

ISO14001をもとに、環境に配慮した省力化・省エネルギー製品の開発、さらに生産効率化と省エネルギー生産、廃棄物の削減、営業活動、製品輸送、サービス対応活動などすべての業務活動において、環境と人に配慮した持続可能な経営を推進していきます。

私たちは「製品づくりからお客様が使用し、満足いただけるまで」という考えを基本に、一貫した環境配慮と省エネルギーに努めます。

Part

2

地球環境への負荷低減を重要課題とし、積極的に取り組みます。

## 環境方針・環境マネジメントシステム

## 環境方針 〈ISO14001〉

## 理念

日東工器株式会社は、産業界の省力化と作業環境の改善を不変のテーマとして独創技術による高品質・高機能・高信頼性の製品づくりに邁進して来ました。製品を通じての地球環境への取り組みばかりでなく、事業活動を通じても地球環境への負荷軽減が当社の果たすべき重要課題であると認識し、全ての面で社会的責任を果たします。

## 基本方針

- ①日東工器株式会社は、全従業員一人ひとりが環境意識を高め、迅速流体継手「カブラ」、機械工具（空圧機器/油圧機器/電動機器）、空気圧縮機・ポンプおよびそれらの応用製品、建築機器（ドアクローザ）等の製品設計から販売までの業務および、それ以外の全ての業務において環境保全に努めます。
- ②環境配慮の製品設計、グリーン調達・購入、省資源・省エネルギー、リサイクルの促進、廃棄物の削減などに取り組み、環境汚染の予防に努めます。
- ③環境関連の順守義務事項を順守します。
- ④環境目標を設定し、運用し、定期的に内部監査・マネジメントレビューを行い、事業活動と整合した活動として環境マネジメントシステムを継続的に改善します。
- ⑤この方針は文書化し、全従業員に周知徹底するとともに、社外からの求めに応じて公開します。

## 環境マネジメント体制

環境マネジメントを推進する体制として、EMS (Environmental Management System) 部門長会、環境委員会、内部環境監査グループ、グリーン調達委員会を設置し、ISO推進部を事務局としています。

## 環境マネジメント体制

## EMS部門長会

- トップマネジメント
- 環境管理責任者
- 部門長
- 事務局

## トップマネジメント

代表取締役社長  
環境担当役員

## 環境委員会

- 環境管理責任者
- 環境委員
- 事務局

## 内部環境監査グループ

## グリーン調達委員会

## ISO推進部

## 環境マネジメントシステムの運用状況

ISO14001環境マネジメントシステムに準拠した「環境マニュアル」に基づき環境マネジメントシステムを構築・運用しています。運用にあたり、以下のように実施しています。

## ①EMS部門長会の開催

定例EMS部門長会を3月初旬に開催し、次期のEMS組織と役割、第三者認証審査などの年間計画、内部環境監査結果の伝達などを行います。

## ②環境委員会の開催

毎月各部門の環境実績報告により、目的・目標に対する実施・進捗状況を確認します。また、EMSの維持管理と各部門への伝達などを行います。

## ③内部環境監査の実施

年に2回、内部環境監査員による各部門の監査を実施します。内部環境監査に先立ち、内部環境監査委員会を実施し、第三者認証審査結果や前回の内部環境監査結果、内部環境監査の重点項目などの伝達などを行います。

## ④マネジメントレビューの実施

環境管理責任者は必要な情報を収集し、「環境マネジメントレビュー報告書」を作成してトップマネジメントに報告します。この報告書に基づき、トップマネジメントは年1回4月に定期レビューを行います。



Part  
**3**

環境と人に優しい安全性を追求します。

## 製品含有化学物質への取り組み

日東工器では環境法規順守、グリーン調達、製品含有化学物質調査、社員の環境教育などを通じて、より安全な製品を生産する仕組みを構築しています。

これにより、環境と人に優しい安全な製品をお客様に届けるという製造メーカーとしての責任を果たしています。

### 環境に関する法規制の順守状況

2015年度は、環境に関する法令違反として「電動ジェットタガネ：EJC-32A」のRoHS指令違反が社内調査で発見されました。EU出荷各国当局への届出と交換対応を実施。またRoHS指令違反部品への代替対応の実施、同仕様部品への展開対応を実施しました。その他、環境に関する法令違反・指導・

苦情はありませんでした。また、日東工器自社で制定した「グリーン調達基準の管理物質への全製品対応」において、一部の部品に規制値を超えた含有が確認されました。RoHS指令違反を含む、対応処置など詳細につきましては、ホームページに公開しています。

### グリーン調達

日東工器は、品質や価格だけでなく環境のことも考え、環境負荷ができるだけ小さい材料・部品・資材やサービスを、環境負荷の軽減に努める仕入れ先様から優先して購入する取り組みを実施しています。

#### 1) グリーン調達方針

グリーン調達方針は、方針を定める目的、適用する範囲などを制定し、日東工器に関わりのあるさまざまな人に開示して、日東工器の企業姿勢を表明しています。

#### 2) グリーン調達基準

日東工器の生産活動にご協力いただいている仕入れ先様に、日東工器のグリーン調達の考え方と対応順守の要請を行う基準です。本文と日東工器の管理化学物質リストで構成され、仕入れ先様は日東工器のホームページからダウンロードできます。2004年に制定し、2016年4月現在8.1版を開示しています。

#### 3) グリーン調達委員会

日東工器のグリーン調達活動を推進することを目的とした組織です。各商品事業部、各生産拠点から委員が出席し、毎月グリーン調達活動におけるさまざまな議案に対し討議しています。2015年度の活動では、2014年度に構築したJISガイドラインに基づく製品含有化学物質管理システム（CMS）を正式運用開始し、グリーン調達基準の改訂を行いました。

#### 4) 日東工器の製品含有化学物質調査

JAMP<sup>※1</sup>に会員として加盟し、「AIS」<sup>※2</sup>「MSDSplus」による調査管理を行っています。同様に仕入れ先様にも「AIS」「MSDSplus」による調査管理を依頼し、実施管理していただいています。

※1 JAMP（アーティクルマネジメント推進協議会）：化学物質情報を適切に管理し、円滑に開示・伝達する仕組みを作り普及させるために発足した、製造業界横断の活動推進団体

※2 「AIS」「MSDSplus」：JAMPの作成した化学物質情報伝達ツール

### 環境教育の実施状況

2015年度の日東工器および国内生産子会社の環境教育実施状況です。今後もさまざまな観点から教育を実施します。

内訳	日東工器		栃木日東工器		白河日東工器		メドテック	
	開催教育数	延べ受講人数	開催教育数	延べ受講人数	開催教育数	延べ受講人数	開催教育数	延べ受講人数
合計	72回	約770人	27回	324人	21回	110人	15回	117人
環境役割者教育	5回	9人	—	—	—	—	—	—
環境外部セミナー	11回	18人	—	—	9回	11人	1回	2人
専門家教育	3回	21人	4回	17人	—	—	1回	8人
新人環境教育	18回	29人	3回	8人	3回	7人	9回	20人
環境一般教育	32回	約460人	16回	252人	8回	84人	1回	8人
緊急事態訓練	3回	約230人	4回	47人	1回	8人	3回	79人

Part  
**4**

省エネ・省資源に努めCO<sub>2</sub> 排出量を削減していきます。

## 地球温暖化対策・廃棄物の削減

日東工器は環境方針に則って、地球温暖化防止のため省エネ・省資源への取り組みを推進しています。リデュース、リユース、リサイクルの推進を通して、コスト削減と環境保全を両立し、地球温暖化防止のため省エネ・省資源への取り組みを推進しています。

### 地球温暖化防止に向けた活動

#### ●地球温暖化防止に向けた活動

日東工器がこれまでに実施してきた環境対応として、環境に配慮した製品の開発、空調温度の管理と設備の高効率化、LED照明、電力のピークカット、ハイブリッド車の導入とエコドライブの励行、ペーパーレスシステムの構築、コピー用紙の削減、資源のリサイクルなど、さまざまな取り組みを続けています。

一つひとつの効果は大きくないかもしれませんが、それらを積み重ね少しでも環境に貢献できるように、環境方針に則って、各部門でそれぞれが自分たちのできる活動は何かを考え、目標を立て、活動をしています。

#### ●CO<sub>2</sub>排出量

2015年度の日東工器CO<sub>2</sub>排出量の実績は、909tとなり2014年度に比べて41t減少しました。日東工器のCO<sub>2</sub>排出量の割合は、電力によるものが約68%、自動車用の燃料が約23%と、この2つで約91%を占めています。

なお、CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガスについては、排出していません。

#### ●電力使用量

2015年の日東工器の電力使用量は、1,828kWhと2014年度と比べ若干減少しました。東日本大震災が発生した2011年の水準から、同レベルを維持しています。

### 廃棄物の削減

#### ●廃棄物排出量

廃棄物は廃棄時に材質などから14種類に分類し、できるだけ後工程に負荷をかけずリサイクルできるようにしています。

2015年度は名古屋支店の移転の影響により前年度より増加しました。

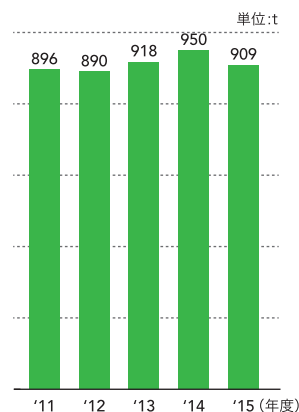
#### ●紙類リサイクル量

2015年度は文書管理の期限見直しに伴い、過去の資料をリサイクル処分したため紙類のリサイクル量は増加しました。

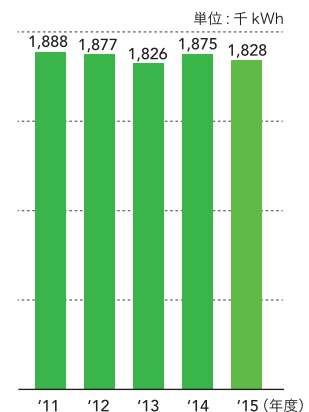
#### ●コピー用紙使用量

裏紙の再利用などによるコピー用紙の有効利用が浸透し、2015年度コピー用紙使用量は、5.8tで前年より若干減少しました。

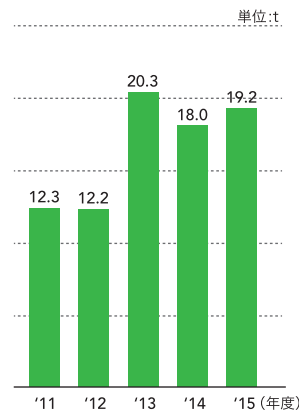
CO<sub>2</sub>排出量の推移 (日東工器)



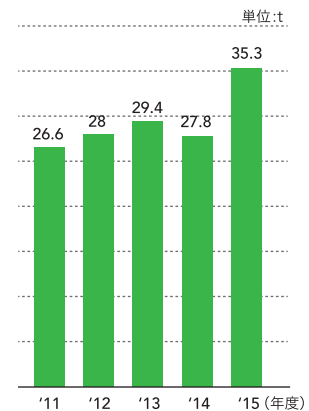
電力使用量の推移 (日東工器)



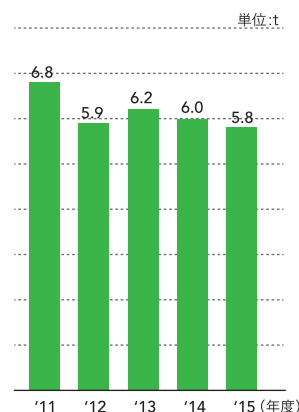
廃棄物排出量の推移 (日東工器)



紙類リサイクル量の推移 (日東工器)



コピー用紙使用量の推移 (日東工器)



Part  
**5**

環境負荷の低減を目指し、環境への影響の「見える化」を、  
継続的に取り組んでいきます。

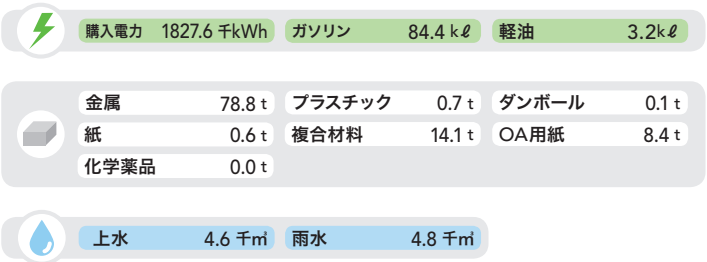
## 環境への影響について

日東工器の国内拠点において、2015年度に投入した  
エネルギー量・水資源量・原材料その他購入品の量と、  
排出した環境負荷量・廃棄物量・リサイクル量  
および製品として出荷した量は以下のとおりです。

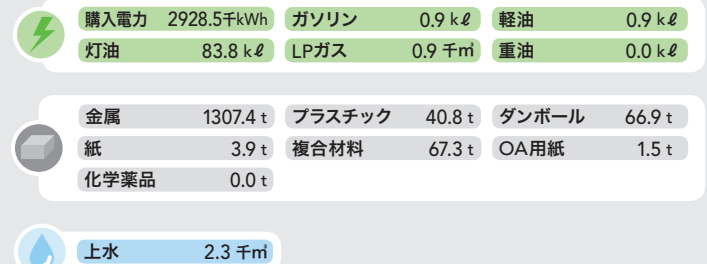


### INPUT

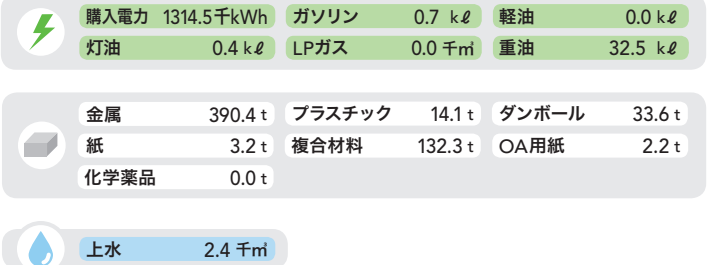
#### 日東工器株式会社



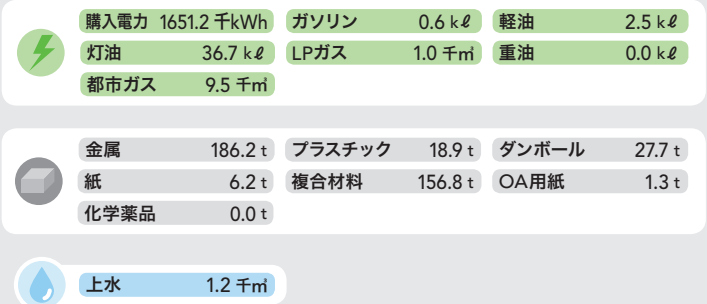
#### 栃木日東工器株式会社



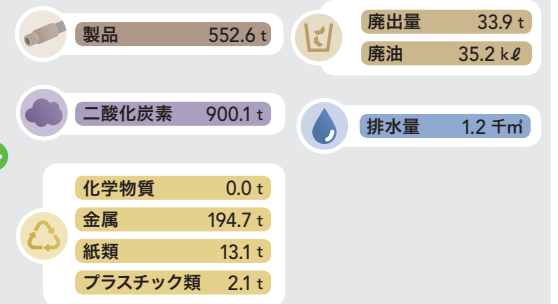
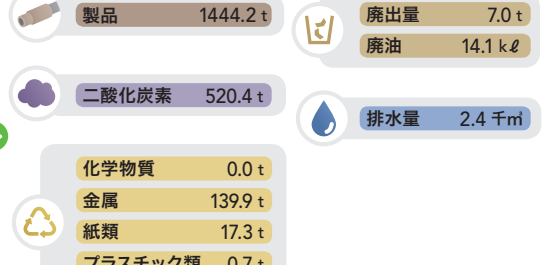
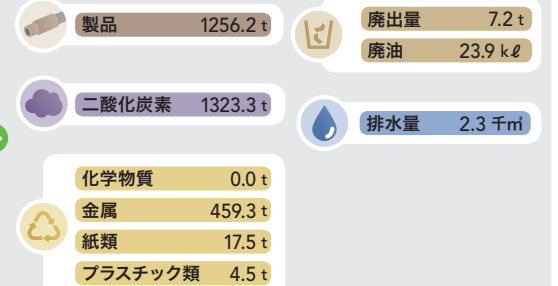
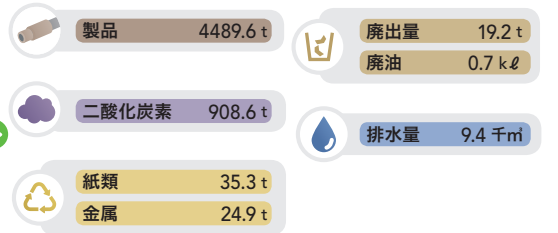
#### 白河日東工器株式会社



#### 株式会社メドテック



### OUTPUT



Part  
**6**

独自の技術と設計で皆様の環境保全に貢献します。

## 製品開発

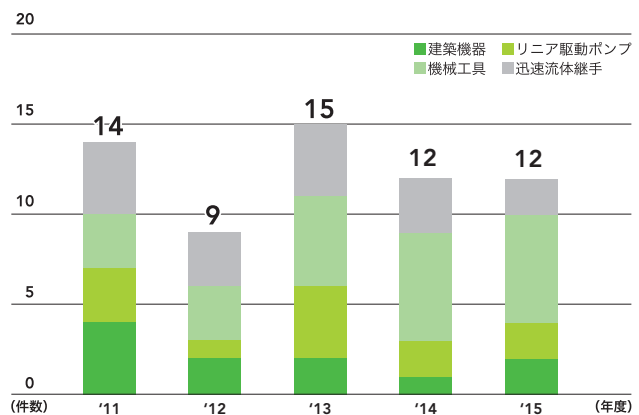
日東工器は開発面でも環境貢献に力を入れており、環境配慮設計(DfE=Design for Environment)評価の採用もその一つです。今後も独自の技術開発で環境保全に努めます。

### 自社製品コンセプト

日東工器は創業から半世紀余にわたり、一貫して人間に焦点を当て、独創的な技術を大切にモノづくりを行っています。それら技術を活かした当社製品が目指してきたのは「産業界の省力・省人化、作業環境の改善」であり、使う人の立場で社会に貢献し続けることです。また独創的な技術を追い続けることが、将来の持続可能な発展へとつながっていきます。今日では「25,000種を超える迅速流体継手」、「鋼材穴あけ加工など各種機械工具と電動ドライバ」、「リニア駆動などの各種ポンプ・コンプレッサと応用製品」、「ドアクローザ（建築機器）」の4事業でさまざまな製品を世の中に送り出し、いずれも高い評価をいただいています。

### 環境配慮設計

日東工器で新製品や改良製品を設計する際に取り入れているのがDfEです。DfEとは、開発段階からお客様の製品廃棄時までを通じた各段階で、環境負荷をできるだけ低減する設計のことを表します。日東工器ではDfEを2004年度から導入し、2015年度までの12年間で累計174件の環境配慮製品を開発しました。



## 多機能電動ドライバ 「DLV30S/45S/70Sシリーズ」

「ねじ締めとは？」の根本的な部分から見つめ直して開発したのが多機能電動ドライバ「DLV30S/45S/70Sシリーズ」です。ねじ締め不良には、「ねじバカ」、「ねじ浮き」、「ねじ頭破損」などさまざまなトラブルがあります。不良をなくすためには低速でのねじ締めが有効ですが、一方で、多くのお客様が高效率、スピーディなねじ締めを求めており、それに応えるには高速でのねじ締めが欠かせません。

高品質な仕上がり（低速ねじ締め）と高效率の作業性（高速ねじ締め）。この相反する関係にある要因を両立させたのが「DLV30S/45S/70Sシリーズ」です。両立において重要な点は、ねじ締め速度を「ゆっくりスタート→高速でねじ送り→ゆっくりストップ」と、スタート→ミドル→フィニッシュの3工程に分け、ねじ締め条件を任意に設定できる「自動速度可変機能」です。ねじ締め不良の多くは、ねじ締めの始めと終わりに発生するため、始めと終わりを低速にし、その間を高速にすることで不良削減と高速化の両立を図りました。

回転速度は9段階で選択可能で、幅広いねじ締め条件に対応できます。加えて、「ねじ締めカウンタ」の作業管理機能、仮締め機

能、セキュリティ機能など多彩な機能を搭載。また、「リモートコントロール」によって同時に複数の電動ドライバの設定管理をすることが可能で、設定効率向上と設定ミス防止に役立ちます。

製品化に際し、お客様の声を反映するのはもちろんですが、どうすればお客様の期待以上の製品が作れるのか、現実的な機能から夢のような機能までさまざまな検討を重ねました。その結果、「自動速度可変+ねじ締めカウンタ+リモートコントロール」という基本コンセプトができ上がりました。

試作品をご覧になったさまざまなお客様から「コンセプトが面白い」「ここまで機能がパッケージ化されている電動ドライバは見たことない」「現場が革新的に変わる可能性がある」などと感想をいただいた時、お客様の期待以上の電動ドライバが作れたと確信しました。



## 使用時の作業効率化、廃棄時の分別性も向上

サニタリーカブラ イージーウォッシュ型 / 型式 SEW-2.0S/P-FR/BR

「サニタリーカブラ」は食品製造工場などにおける配管継手のさまざまな悩みを解決するために開発した製品です。食品製造工場では、生産する食品を変更する毎に製造装置を洗浄します。その際配管も分解洗浄を行います。現在食品製造工場における配管継手はヘルール継手という継手が主流ですが、ヘルール継手は接続・分離に手間がかかることや、継手の接合部に挟み込むパッキンが必要ですが、パッキンを床に落とし易く衛生面で問題がありました。

「サニタリーカブラ」は、わずらわしい接続・分離作業を簡易化し、パッキンも脱落しない構造のため、ヘルール継手の問題を解決します。また、頻繁に洗浄されることを考慮し、工具なしで容易に分解・組立が可能で、部品点数も少ないため洗浄の手間を大幅に削減できます。部品点数が少なく容易に分解・組立ができることから、「サニタリーカブラ」は、使用時の作業効率化、廃棄時の分別性も配慮した環境配慮製品となっています。



## ワールドボルテージと高効率を達成

DCポンプ / 型式 DP0210T-A1179

医療・福祉・環境関連・分析関連・半導体製造関連・理美容などの業界では、空気圧を利用している機器が数多く使われています。当社のエアポンプは、それら多くの機器の空気圧供給源として幅広く使用されています。

「DP0210T」は、DC（直流電源）駆動のブラシレスモータを搭載したダイヤフラム方式のエアポンプです。特長は、ブラシレスモータを搭載することで長寿命と高効率化を図っています。従来製品「DP0110T」と同等の大きさで吐出空気量が約2倍の10L/minを実現しました。構造面では、圧縮室を2カ所設けたことで、クランク往復動機構に

おいて低振動・低騒音を実現しました。また、DC駆動を採用したことで、各国の電圧の違いに関係なく対応することができ、ワールドボルテージと高効率で、資源の有効利用と省エネに貢献しています。



### 特長

- 従来製品と比較し空気量が約2倍
- DC駆動でワールドボルテージに対応
- 小型・コンパクト

## さまざまな研磨用途に幅広く対応できる 超小型サンダー（研磨機）

コンパクトマルチサンダー / 型式 CMX-20

「コンパクトマルチサンダー」は、3種類の研磨パッドを取り替えることで、さまざまな研磨用途に幅広く対応できる超小型サンダー（研磨機）です。小型・軽量・低振動で、自動車や家電関連の板金、ダイカスト部品、塗装部品などの小物の研磨作業に最適です。

研磨パッドには①先端の径が約15 mmで、指のような形状をしているフィンガーパッド②長方形の形状をした角パッド③円盤状で直径が2インチ（約50 mm）の2インチ

パッドの3種類があり、簡単に取替え可能で、利用目的に最適なパッドを選択できます。

フィンガーパッドは、ダイカスト部品の押し出しピンの立ちバリ除去や、板金のスポット溶接の仕上げなど、狭いところ、奥まったところの研磨作業に威力を発揮します。角パッドは板金の凹部や、湾曲部品の曲率に沿った研磨作業などに最適。また、2インチパッドは平面部分の塗装タレ・溜まりや切削加工の加工跡などの除去に適しています。





安全・品質・環境に配慮し、より効果的な取り組みを目指します。

## 生産部門の取り組み

メーカーである日東工器にとって、生産現場での環境の取り組みは非常に重要です。多岐にわたる製品を生み出すそれぞれの生産拠点でどのような取り組みが行われているのか、国内外の主要な生産拠点を例にとって説明します。

### 日東工器グループのグリーン調達方針

日東工器グループの生産に使用する材料・部品などはグリーン調達方針に則り調達しています。

- ①日東工器は、化学物質に関する法規制を順守した原材料・部品・製品・副資材(以下、調達品という)を調達します。
- ②日東工器は、人や環境に対して有害な化学物質を製造工程で使用することを禁止または削減します。

- ③日東工器は、環境マネジメントシステムおよび製品含有化学物質管理システムの構築に取り組んでいる仕入れ先様からの調達を優先します。
- ④日東工器は、お客様の要求に応えるために、製品含有化学物質情報を把握するとともに、情報開示に努めます。

### 国内生産グループ会社の取り組み

#### ●バリューチェーンにおける環境配慮などの取り組み

日東工器は、製品含有化学物質管理システムを構築し、2015年度から日東工器および国内生産グループ会社3社で正式運用を開始しました。

この管理システムを運用することで、製品を構成する材料の詳細を明確化することが可能です。管理された中で生産される製品は、お客様から要望される原材料に関する化学物質情報を提供できるなど、より付加価値の高い製品供給が可能になっています。

今後、管理システムの充実を図ることで製品の設計開発・製造・流通・販売に至るすべてのバリューチェーンにおける工程で、環境配慮、化学物質管理を徹底し、グリーン調達方針に沿った活動を推進していきます。

※バリューチェーン：製品またはサービスを、価値と言う形で提供する側（製造会社など）、および受ける側（お客様など）の双方の事業活動をいう。またそれら関係者全体をいう。(JIS Z26000)

#### ●蛍光X線分析の実施

日東工器グループに納入される調達品は、仕入れ先様の協力の下、有害な化学物質が含有されない体制を構築しています。更に、社内にも蛍光X線分析計を導入し、リスクを減らす努力をしています。

RoHS指令の特定有害物質の含有判定のため本社では、すでに実施している蛍光X線分析計によるチェックを、2015年10月からメドテックでも開始しました。

仕入れ先様から納入された調達品は、リスクに照らしあわせて必要性を判断し、蛍光X線分析を行います。分析判定結果は、適合は青色、不適合は赤色と分析計の画面に色で表示されます。判定で苦労したのが、めっきや塗装です。分析結果が表面のめっきや塗装だけでなく、母材の成分まで含んで測定されるのでCr(クロム)の含有量などが、実際より高い数値が表示されることがありました。

今後も、検査体制の充実と、お客様が安心して購入できる製品を提供できるよう取り組んでいきます。

### 国内生産グループ会社の改善活動

#### ●小集団改善活動の本社発表会（栃木日東工器）

国内生産グループ会社3社は、生産性・品質の向上・環境への配慮などを推進するため、小集団改善活動\*を行っています。2011年度から3社の最優秀チームが本社で改善成果発表会を行っています。今回は栃木日東工器の活動と発表内容を紹介します。

栃木日東工器では生産革新活動として、全14サークルが個々に小テーマを掲げ、スケジュールを明確にして事業計画に直結した活動に取り組んでいます。

この中から2015年度は製造2課の「FMCサークル」が最優秀チームに選出されました。「FMCサークル」のテーマは「鍛造部品の加工に使用する工具寿命延長」です。鍛造加工工程



国内生産グループ3社の最優秀チーム



の生産性は、使用している工具寿命がボトルネックとなっていました。この工具寿命を1.2倍にすることを目標に、改善活動を実施しました。さまざまな材質と表面処理の変更・組合せを“考えて考動”し目標を大幅に上回る約6倍の寿命延長に成功しました。これにより品質の安定はもちろん、工具破損による不良廃棄物の減少に貢献し、環境面での改革としても高く評価され最優秀チームとして選出されました。

PI活動は品質・環境を含めたISO活動とも連携を図り、事業計画と一体化して栃木日東工器の企業体質向上に役立っています。

※小集団改善活動：「部」や「課」といった組織に捉われず「係」や「担当」といった少人数のチームが、独自のチーム名を付けて改善活動を行います。



本社発表会風景

### ●環境負荷軽減活動（メドテック）



環境負荷軽減活動ドレン処理装置

メドテックでは、環境負荷軽減策として廃棄物のクリーン化に取り組んでいます。そのひとつとして生産工場が必要不可欠である空気圧縮機（コンプレッサ）が排出する、ドレン廃棄物<sup>\*</sup>のクリーン化があります。ドレン廃棄物には、ノルマルヘキサン抽出物質含有量（鉱油類含有量）が100ppm以上含まれており、水質汚濁防止法（基準値：5ppm以下）により、そのまま下水に排出する事ができませんでした。ドレン廃棄物は、産業廃棄物処理業者に委託し年間約40kℓ処理しており、その費用も工場の負担となっていました。

そのためドレン処理装置を導入し、ドレン廃棄物を水質汚濁防止法の基準値以下に処理できるように改善を図りました。その結果ドレン処理装置による処理後は、ノルマルヘキサン抽出物質含有量が1ppm以下の値となり、基準値以下のドレン廃棄物となりました。ドレン処理装置は、無電源で稼働するので電力も掛かりません。ドレン廃棄物のクリーン化は、廃棄物処理コストの削減・環境負荷の軽減に大きく貢献しています。

※ドレン廃棄物：空気中の水分が、コンプレッサの作動油と混ざった水溶液

### ●空調設備更新による環境負荷軽減（白河日東工器）

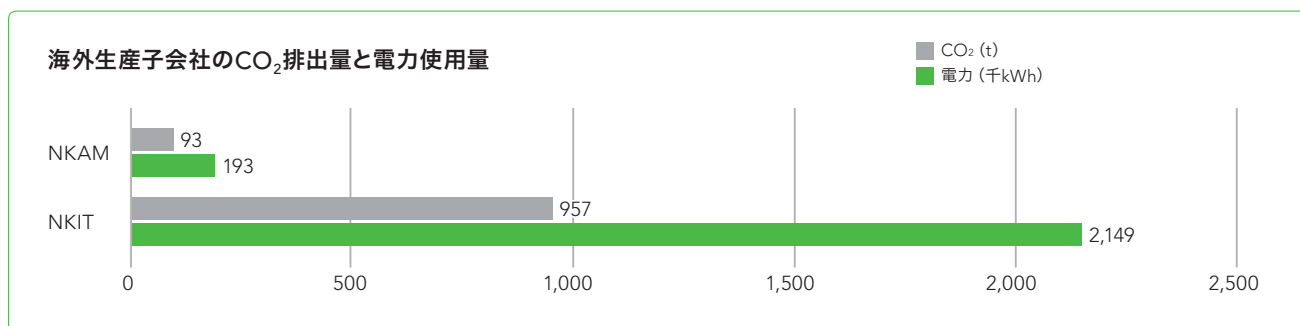
白河日東工器の空調設備は、導入後すでに20年が経過し、老朽化していました。冷暖房切り替え時には、工事と保守点検が必要で、ランニングコスト以外にも費用がかさんでいました。また、暖房に使用している重油タンクの使用法定年数が数年後に期限を迎えるため、タンクの漏れの危険から更新が必要な状況でした。

これらの問題をクリアにすると共に、地球環境に優しい工場を目指すため省エネルギーの空調設備へ更新しました。従来の暖房は重油を使用していましたが、新規空調設備は冷暖房共に電気となるため、年間使用電力量および電気料金は、従来に比べ上がります。ただし、導入する空調設備は省エネタイプのため最大需要電力が抑えられ、その結果工場の電力料金の削減が見込まれます。一方、空調設備が冷暖房共に電気となることは、重油購入、冷暖房の切り替え工事がなくなるために大きく費用を削減できます。

従来と比較すると、使用電力量が年間約31万kWhから約38万kWhに増加しますが、重油使用量約85kℓが削減され、空調切り替え工事費も不要となります。CO<sub>2</sub>年間排出量も約340tから約150tと、環境負荷の軽減に繋がりました。また、集中操作パネル導入により工場全体の使用電力および使用状況を監視でき、ムダの削減にも繋がっています。



空調設備入替装置



Part  
8

緑の中の本社・研究所で省エネとともに環境への意識を育みます。

## オフィスの取り組み

本社オフィスは、最新の省エネルギー技術を採用しました。  
自然の力をうまく取り入れることによって、環境に負荷をかけることなく、  
1年を通じてオフィス内を快適な状態に保つことができます。  
オフィスでの取り組みを紹介します。

### 日東工器本社



日東工器の本社社屋は「緑の中の本社・研究所」をコンセプトに建てられました。建物の周りには多くの植物が植えられています。事務棟と研究棟をつなぐ吹き抜けは、外光が降り注ぐ開放感のある空間となっています。さまざまな環境への配慮により、建物総合環境性能評価システム（CASBEE）で最上級の「S」にランクされています。

社屋の環境対応を紹介すると、4階、5階に緑地を設け、また敷地の外周にも約1.5mの幅で緑地を設けています。全体で4000本近くの木々を植えたおかげで、四季折々楽しめると、近隣住民の皆様にも好評です。また外周植栽の一部に近隣住民用のゴミ集積場も設けています。

オフィスには大開口のペアガラスを採用し、日中は外光を取り入れながら熱の出入りを押さえることで、節電に繋がります。

建物外観の大きな特徴となっているルーバー（電動外部ブラインド）は壁面の放射熱を約90%もカットし、省エネルギー化に貢献します。

オフィスの空調は、天井に設置したアルミ製の放射空調パネルで行います。冷房はパネルに冷水を流し、アルミパネルにより冷やされた冷気で、オフィス内が快適な温度を保ちます。加えてアンダーフロア空調という床下から空調も導入しました。涼しい季節は、空調を停止して、窓際の天井部分と網戸で自然換気を行っています。従来方式の空調に比べて30%程度も省エネ効果があります。

社屋の給水システムでは、雨水を地下貯水槽に溜め、トイレの排水用に利用しています。その効果で、本社の上水道の使用量は通常より40～50%も削減できます。

### 本社での取り組み

**受注業務を効率アップ。  
業務改善とともに紙の年間使用量を540kg削減。**

お客様からの注文の多くはFAXで受注しています。受注内容は数台のFAX機に出力され、そのFAX用紙の枚数は毎月7,000枚になります。そのFAX用紙は各担当に振り分けられ、在庫や納期を調べて記入し、お客様に回答していました。その後、社内処理として受注内容を複写式注文伝票に転記していました。

受注業務の効率化と紙の削減をするために、このFAX用紙の電子化を実施しました。お客様からのFAXは紙に出力されず、データとしてパソコン上に表示されます。そのデータは各担当のパソコンに送られ、パソコン上で納期などを記入し、紙に印刷することなくお客様へFAXデータとして返信されます。また、そのデータに社内の伝票情報を付加できるため、複写式注文伝票への転記も不要になりました。

受注業務の効率化はFAX用紙・複写式注文伝票の大幅削減と合わせ、転記ミスの削減・データ管理のため伝票の保管場所が不要になるなど、多くのメリットが生まれました。



A4用紙1カ月の削減量（約28kg）



社会や地域と良好な  
コミュニケーションを築きます。

## 地域とともに

日東工器グループは社会や地域の皆様とともに成長する企業でありたいと考えています。事業活動や付随する活動で地域や社会に貢献し、皆様に信頼され、良好な関係を築いていくために、さまざまな活動を行っています。

### やまがた絆の森プロジェクト参加

「ふるさと山の会植樹」の第5回ボランティア活動にメドテックからは9人が参加し、「かねやま絆の森への植樹活動」を行いました。

ふるさと山の会の植樹に、参加するたびに山に植樹した木が増えていくのを感じ嬉しく思います。

午前中の活動は植樹活動でした。参加者の方々と協力し、木の苗を山頂近くまで運び、運んだ苗を1本1本丁寧に植えました。地面にスコップで穴を掘る作業は、植樹場所に木の根がたくさん張り巡っていたので、掘り進めるのが大変でした。

また、植える間隔が近すぎると木が大きく育たなくなってしまうので、成長することを想像して植えなければいけません。自分たちが植えた苗が成長するための大切な作業なので、丁寧にを行いました。

植樹活動の後は、地域の方々が山菜汁とおにぎりを準備してくださいました。毎年昼食を準備して作業後の私たちを待っていてくれます。植樹活動は予想以上に体力を使うので、その後の昼食の時間を楽しみにしています。体を動かした後に屋外で食べる地域の方の心こもった食事は、とてもおいしかったです。

植樹活動を通して、環境活動の大切さ、地域の方々とのつながりの大切さを改めて感じました。また、私たちが植樹した苗が成長し、大きな森になってくれることを願っています。今後も植樹活動などのボランティアに参加していきたいと思います。



### 編集にあたって

#### 発行目的と編集方針

日東工器株式会社の社会、環境への取り組みと現状を株主やお取引先をはじめとするステークホルダーの皆様にご理解いただき、皆様とのコミュニケーションを深めていくことを目的としています。社会貢献活動や環境負荷についての指標を中心に、正確で透明性の高い情報開示をモットーに編集を進めました。また、2015年から「社会・環境報告書」といたしました。財務情報、企業情報について詳しくは、下記ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.nitto-kohki.co.jp/>

#### 対象期間

2015年4月～2016年3月

#### 対象範囲

原則として、日東工器株式会社としています。また、参考としてグループ会社の栃木日東工器、白河日東工器、メドテックおよび海外グループ会社の環境負荷の状況報告を含んでいます。なお、グループ会社のUNIVERSAL DRILLING & CUTTING EQUIPMENT LTD. (英国)と日東工器-美進株式会社(韓国)は前事業年度(2014年4月～2015年3月)に事業譲渡しましたので対象から外しました。

#### 発行時期

- 発行日：2016年5月10日
- 次回発行：2017年5月予定

日東工器では2010年から環境報告書を発行しています。

#### ガイドライン(参考)

- 環境省  
「環境報告書ガイドライン(2012年版)」

#### お問い合わせ先

日東工器株式会社 ISO推進部  
●TEL：03-3755-1111  
●FAX：03-5700-7192

#### 後発事象

2016年4月以降、発行日現在までの後発事象はございません。

#### 免責事項

この報告書には、日東工器の過去と現在の事実だけでなく将来についての計画、予想および見通しの記述が含まれています。これらの記述は、現時点で入手した情報に基づく仮定ないし判断であり、諸条件の変化によって将来の事業活動の結果や事象が予測と異なる可能性があります。

## 日東工器株式会社

- 本社：〒146-8555 東京都大田区仲池上二丁目9番4号
- TEL：03-3755-1111代
- URL：<http://www.nitto-kohki.co.jp/>